

みんなで考える ～地域の一員として、 あなたは何かができますか～ 災害に強いまちづくり



輪島市 朝市地区の被災した様子
提供 認定NPO法人 難民を助ける会 (AAR Japan)

1月に「令和6年能登半島地震」が発生、8月には「南海トラフ地震臨時情報」が制度開始以降初めて発表され、地震に対する備えが求められています。災害時における女性、子ども、病気や障害のある人や乳幼児を抱える世帯がもつ多様なリスクやニーズに地域で対応する必要性を学びます。



プロフィール

阪神・淡路大震災の被災地で4年間の支援活動を契機に防災に取り組む。その後も市民団体で働きながら大学院に進学。博士（公共政策学）。専門は地域防災、災害とジェンダー。福祉防災認定コーチ。内閣府「避難所運営ガイドライン」「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」など国・自治体の政策にも関わる。

日時

12月8日

午後2時～4時

(開場時間 午後1時30分)

会場

熱田区役所7階講堂 (神宮三丁目1-15)

講師

減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表
早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員

浅野 幸子 さん

定員

150人 (申し込み不要 参加費無料 記念品あり)

事例報告

①「能登半島地震の被災地支援に行きました！」

あつた災害ボランティアネットワーク 門田 芳恵 さん

②「子どもの親としての役割、女性視点の備え」

名古屋市港防災センター長 大場 玲子 さん

問い合わせ

熱田区役所地域力推進課 TEL 683-9423 FAX 683-9494

主催 熱田区地域女性活動促進・人権尊重のまちづくり合同事業実行委員会